

過去の研究活動に係る指摘について

文部科学省から、匿名で本学を含む複数の大学の研究者が発表した科学論文、計84本に画像の切り貼りや使い回しが疑われるものがあるという指摘があったことを受け、本学に所属及び過去に所属していた教員が責任著者となっている計4本の論文について、「北海道公立大学法人札幌医科大学における競争的資金等に関する不正防止プログラム」第3の4(3)に基づき、調査を行いましたので、その結果を公表します。

1 調査の概要

(1) 本学におけるこれまでの経緯

1月29日 不正調査委員会、設置。

同日 不正調査委員会専門小委員会、設置。

2月9日～4月22日 専門小委員会にて調査を実施。

4月24日 不正調査委員会、調査報告(専門小委員会調査報告)

(2) 調査方法等

専門小委員会において、4本全ての論文について、責任著者、筆頭著者に対して聞き取りや関係資料により調査を実施した。実験データ等は存在しているものは、当該データ等により確認し、不存在のものについては、当時行われていた関連実験の結果等により確認した。

2 調査結果

今回の指摘については、研究活動の不正行為はなかった。

ただし、4本のうち1本の論文に、故意ではない作図のミスがあった。誤りがあった論文は別記のとおり。

3 今後の対応

本学としては、文部科学省策定の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく「北海道公立大学法人札幌医科大学における研究活動に関する不正防止プログラム」を平成27年4月1日に施行した。これを踏まえ、①研究倫理教育の実施、②実験データ等の研究資料の保存・管理体制など、研究者倫理の徹底と適正な研究活動の確保と推進に、なお一層努めることとする。

【お問い合わせ】

附属産学・地域連携センター 高橋

電話：011-611-2111(内線 2168)

Mail: kakenhi@sapmed.ac.jp

【誤りがあった論文】

C-terminal region of STAT-1alpha is not necessary for its ubiquitination and degradation caused by mumps virus V protein.

J Virol. 2002 Dec;76(24):12683-90.

○指摘のあった箇所 Fig8B の FL と FLMT の図

○調査結果 オリジナルデータが存在していることにより、単純な図の貼り間違いであることが判明し、不正はないと判断した。なお、Fig8 の訂正を出版社に申し入れることを著者に要請した。